

**平成21年度市民討議会提言内容の進捗状況一覧表
(平成28年度末現在)**

討議 テーマ1	玄関口としての新しい多治見駅を魅力あるものにするには		
提言	利用客の利便性を向上させるための整備を推進するとともに、市民の憩いの場としての役割、また観光拠点としての役割の充実を求めます。		
詳細	進捗状況	関係部署	
利用客の利便性向上のために駐車場やロータリーの整備を望みます。	駅北地区の27街区に新たに駐車場を設置しました（平成26年12月）。駅南ロータリーは、タクシーと送迎用一般車両を分離し、安全に利用できるように整備しました（平成22年11月）。また、有料自転車駐車を駅北地区に整備しました（平成25年5月）。	市街地整備課 (終了)	
市民の憩いの場として、水のせせらぎや緑の多い公園や、明るく安全が確保された子どもにやさしい施設の充実を望みます。	多治見駅北口すぐに虎渓用水広場を設置、平成28年7月1日から供用を開始しました。この広場は、虎渓用水の音と豊かな緑の木漏れ日が織りなす美しい広場です。世代を問わない市民の交流や憩いの場であり、出店やイベントの開催などを通じて賑わいを生み出していきます。	市街地整備課 (終了)	
観光客のために、案内所・観光マップ・観光案内の看板の設置を望みます。	多治見駅南北連絡通路内に観光案内所を移設オープンし、土・日・祝日には観光ボランティアが駐在して案内しています（平成22年10月）。また、駅南北連絡通路内および北口ロータリーに観光案内板を設置しました。平成23、24年度はセラミックパークMINOや虎渓公園などの周辺施設内に設置しました。平成22年度に観光パンフレットをリニューアル、より分かり易い観光マップを掲載しました。	産業観光課 (終了)	

討議 テーマ2	あなたにとって土岐川の魅力は何ですか？ その魅力を観光資源として活かすためには		
提言	心のふるさと「土岐川」を舞台とした市民の思い出づくりが推進されるよう整備を進めるとともに、観光スポットとしてのイベントの実施と、川に触れ合える施設の整備を求めます。		
詳細	進捗状況	関係部署	
美しい景観を活かした施設や河原で遊べる施設、遊歩道の整備を望みます。	多治見橋北に憩いの場として、河川空間を利用した親水型の広場（多治見橋夢広場）を整備しました（平成23年7月）。平成25年度に土岐川出張所前の整備を終え、平成26年度は市民病院前で河川敷までのスロープ作りや広場作りを庄内川事務所に要望し行っています。今後も「かわまちづくり」に基づき土岐川河川敷内の施設整備を行っていきます。	道路河川課 産業観光課 (終了)	
川を舞台とした市民の思い出づくりのために、自然を活かした川遊びや、川に親しむ機会の創出とそのPRを望みます。	土岐川を使った遊びイベント「りばーぴあ」、自然を学ぶ川遊びイベント「ガサガサ探検隊」などを引き続き行っています。	道路河川課 (終了)	
川でのイベントの実施やマスコットキャラクターを活かしたイベントの企画を望みます。	土岐川を使った親水イベント「りばーぴあ」ではうながっぱやミナモが登場し、会場に訪れた子どもに大人気でした。また、市民の心に残る「市制記念花火大会」など土岐川でのイベントを引き続き実施・支援するとともに、うながっぱをイベントに積極的に活用しています。	道路河川課 産業観光課 (終了)	

討議 テーマ3	土岐川周辺の観光スポットの魅力を伝えるためには	
提言	市民にも多治見の魅力が再認識できる情報を発信するとともに、マスコットキャラクターを活用した企画づくり、またマスコミや企業と協力し観光スポットのPRすること、さらには市民主導の観光マップの作成や観光ルートの整備を求めます。	
詳細	進捗状況	関係部署
多治見の魅力を再認識するために、市民に向けた情報発信を望みます。	広報紙、ホームページ、メールマガジンなどによる情報提供を引き続き行います。また、新たな情報発信ツールとしてフェイスブックを導入しました。	産業観光課 企画防災課 秘書広報課 (終了)
マスコットキャラクターを活かした企画づくりとマスコミや企業と協力したPRを望みます。	観光PRやイベントにうながっぱを活用しています。また、キャラクターグッズの開発や活用など、市民、企業などと協力、連携しながら行っています。	産業観光課 秘書広報課 (終了)
市民が選ぶ多治見の魅力観光マップの作成とバスを利用したルート観光の整備を望みます。	自主運行バス(諏訪線)を改編し、古虎溪駅と廿原ええのおの間を往復する路線(土日祝のみ)を設けました(平成23年2月1日)。多治見市の魅力を網羅した新しい観光ガイドブックを制作(平成24年9月)。編集に当たっては、街頭市民アンケートを行い、掲載場所の選定を行った。	都市政策課 産業観光課 (終了)

討議 テーマ4	多治見駅と土岐川周辺の資源を活用し、“にぎわい”をつくるには	
提言	市民一人ひとりが多治見の魅力を伝える広告塔となるための企画を推進するとともに、まちなみを活かした観光ルートの整備や、多治見駅を起点とした情報発信、交通整備を求めます。	
詳細	進捗状況	関係部署
市民が多治見の魅力を伝えられるための機会やふるさとへの想いを共有する企画を望みます。	多治見駅周辺で、JR東海との共催により「美濃焼祭」を開催し、多治見の魅力を伝えています。	産業観光課 (終了)
まちなみを活かし、商店街を含む観光ルートの整備やイベントの開催を望みます。	観光パンフレット“多治見ものがたり”を生かした観光ルートづくりを行っています。	産業観光課 (終了)
多治見駅を起点とした情報発信や、交通整備を望みます。	南北自由通路にバス経路図を設置(平成25年3月)し、東鉄ビル1階バス待合室の発着案内整備事業に補助金を支出し支援しました。また、コミュニティバスの中心市街地線を改編し、併せて路線バスからの乗継券制度を導入しました(平成25年4月15日)。平成26年度に多治見駅の南北連絡通路に情報発信できる広告媒体を設置しました。	秘書広報課 道路河川課 都市政策課 (終了)